



2025年11月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ヴ イ ス  
代 表 者 名 代表取締役社長 金 谷 智 浩  
(コード番号: 5071 東証スタンダード)  
問 合 せ 先 常務取締役コ-ボレットDiv.長 矢 原 裕 一 郎  
(TEL.06-6457-6788)

## 配当方針の変更（累進配当の導入と連結配当性向の引き上げ）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当方針の変更（累進配当※の導入（1～3）と連結配当性向の引き上げ（4））について、以下の通り決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、詳細につきましては別途開示しております「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」をご覧ください。

※「累進配当」…原則として減配せず、配当の維持もしくは増配を行う配当政策

記

### 1. 配当方針変更の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としてまいりました。この方針をより明確にするため、累進配当を導入することといたします。

当社は、今後も中長期的な視点に立ち、成長が見込まれるM&A投資等に経営資源を投入し、持続的な成長と企業価値の向上、株主価値増大に努めてまいります。

### 2. 変更内容

（変更前）

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、連結配当性向30%を基本としています。この方針に基づき、事業成長のための投資、財務の健全性の確保、株主への還元を考慮し、安定した配当を継続的に行うことを基本方針としております。

（変更後）

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、連結配当性向30%を基本としています。この方針に基づき、事業成長のための投資、財務の健全性の確保、株主への還元を考慮し、累進配当を継続的に行うことを基本方針としております。

### 3. 適用時期

2026年3月期配当より適用いたします。

#### 4. 配当性向方針の変更について

本日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に記載したとおり、2027年3月期の期末配当より以下のとおり配当性向方針を変更致します。

当社は、資本コストおよび株価を意識した経営を推進し、持続的な業績向上と企業価値の向上を図るとともに、財務状況に応じた適正な利益配分を継続的に実施してまいります。この方針のもと、成長投資と利益配分バランスを適切に判断し、2027年3月期より連結配当性向40%以上を目安として、累進配当を継続してまいります。

以上

参考資料（2025年11月12日公表「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」14ページ）

##### ■ 株主還元方針

株主還元の強化に伴い、配当性向を40%に引き上げ。  
一時的な減益でも減配しない累進配当を採用。

